

令和6年度「県立学校による地域との協働推進事業」実施報告書

番号	17	学校名	青翔高等学校
----	----	-----	--------

1. 事業内容について

取組・活動・事業名等	「統合科学」研究発表会
教育課程上の位置付け・目標又は活動のねらい	理数科1年生学校設定科目「統合科学」で自治体や地元企業と連携して課題発見解決学習をすすめ、研究内容を御所市役所の職員や地域住民に聞いていただき、地域と学校の協働を推進する。
連携・協働相手	御所市、奈良県、近隣の自治会、田村薬品工業、井上天極堂
地域と共有している目標・課題等	生徒の探究活動による御所市の魅力発信、御所市が抱える諸課題の解決に向けた提言、学校と御所市との連携機会の増加。
取組・活動の内容（生徒の主体性、具体的活動、連携・協働内容など）	
<p>1学期に地元企業や奈良県庁の方々から地域振興に関する講義を聞いて地域に関する理解を深め、課題を発見した。2学期は課題解決のための仮説を立て、フィールドワークやアンケートを実施・分析して研究を深め、12月には研究成果を共有するための発表会を開催し、御所市役所の方々や地域住民から指導・助言をいただいた。そして、3学期以降の新たな気づきや課題解決に向けた探究活動の深化につなげることができた。</p>	

2. 事業の成果と課題

地元企業や自治体の方々による出前授業を通して、生徒は地域の魅力や未来像、地域が抱える諸課題について理解を深めるとともに、地元企業の工場見学を通して、地域産業の強みについて学んだ。生徒は地域の魅力発信や課題解決に向けて、御所市役所の方々の支援を受けながら、設定したテーマについて班別で調べ学習やアンケート、フィールドワーク等を行って研究を深めた。12月に御所市アザレアホールで実施した「統合科学」研究発表会では、御所市長、教育長、企画政策部長をはじめ市役所から多数のご参加いただくとともに、地元の中学校、地域の代表者、学校運営協議会委員の方々にも加わっていただき、生徒の研究発表に対して様々な見地から多くの有益な指導・助言を得ることができた。より良いコミュニティーの創造に向けて、高校生と地域が更に協働できるように取組を進めていきたい。今後の課題は、生徒が地域の生産者や事業を担当されている方々と直接繋がり、実際にコミュニケーションをとりながら地域の魅力や課題について研究を深めることで、生徒の研究内容に更なる具体性をもたせることである。

【生徒の感想】

- ・研究発表会で実際に御所市役所の方々からコメントをもらい、新規事業を考える上で必要な視点や考えなければならないことを学ぶことができた。
- ・研究発表会の質疑応答の場面で難しい質問もあったが、論理的に説明しようと努力した点で成長でき、質問に柔軟に対応する力を身に付けることができた。

